



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月14日

上場会社名 株式会社ライドオンエクスプレスホールディングス 上場取引所 東
コード番号 6082 URL <https://www.rideonexpresshd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江見 朗
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 渡邊 一正 (TEL) (03)5444-3611
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	5,225	0.8	50	—	51	—	20	—
2025年3月期第1四半期	5,185	△5.1	△90	—	△83	—	△118	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 149百万円(△46.9%) 2025年3月期第1四半期 282百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	2.08	—
2025年3月期第1四半期	△12.10	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	12,605	8,033	63.7
2025年3月期	12,996	8,030	61.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 8,030百万円 2025年3月期 8,027百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,664	0.1	3	—	2	—	△35	—	△3.62
通期	23,430	0.2	807	3.3	804	11.5	429	28.9	43.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	10,918,529株	2025年3月期	10,918,529株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,140,586株	2025年3月期	1,140,586株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	9,777,943株	2025年3月期1Q	9,754,429株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年6月30日）における我が国経済は、緩やかな回復基調を維持しました。雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されておりますが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっております。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループの属する宅配食市場におきましては、高齢化社会の進展、単身世帯の増加、夫婦共働き世帯の増加を背景に、フードデリバリーやテイクアウト等の中食需要が堅調である一方で、コスト増や競争の激化といった課題への対応も必要となっております。

このような状況の下、当社グループは「ご家庭での生活を『もっと美味しく、もっと便利に』」を実現するために、「誰もがご自宅にいながらにして享受できる、より便利で快適な新しいライフスタイルの創出」に貢献していく「次世代ホームネット戦略」を基本戦略として、事業活動に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間においては、2025年4月より商品内容や、販売価格を大きく見直したメニュー改定や、宅配寿司「銀のさら」が創業25周年を迎えたことを記念した、25周年プロジェクトなどの販売戦略により、売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。売上高の増加に伴い売上原価は増加したものの、前年同四半期に行ったサービスの終了などにより各種費用が適正化されたことで、販売費及び一般管理費は前年同四半期に比べ減少いたしました。

営業外損益においては、加盟店舗の買い取りによる店舗買取損、直営店舗の売却による固定資産売却益を計上しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高5,225百万円（前年同四半期比0.8%増）、営業利益50百万円（前年同四半期は営業損失90百万円）、経常利益51百万円（前年同四半期は経常損失83百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益20百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失118百万円）となりました。

主な活動状況は以下のとおりです。

① 店舗・拠点

F Cを含むチェーン全体の店舗数においては、リブランド検証を行っていた「銀のさら 和（なごみ）」の検証終了に伴うブランド切替により宅配寿司「すし上等」10店舗（直営店）を出店し、宅配寿司「すし上等」1店舗（F C店）、「銀のさら 和（なごみ）」10店舗（直営店）を閉店いたしました。また、直営とF Cの区分が変更されたことにより、直営店は宅配寿司「銀のさら」1店舗、宅配御膳「釜寅」1店舗、宅配寿司「すし上等」1店舗の減少となっております。

これにより当第1四半期連結会計期間末における店舗数は741店舗（直営店253店舗、F C店488店舗）、拠点数は371拠点（直営店104拠点、F C店267拠点）となりました（※1）。

※1 当社グループのチェーンでは、商品を宅配するための事業所を全国に配置しており、これを「拠点」と呼んでおります。また、消費者に提供するメニューの種類ごとに設置される設備（宅配寿司「銀のさら」や宅配御膳「釜寅」等）毎の配送機能を「店舗」と呼び、一つの「拠点」に複数の「店舗」を設置することがあります。

② 各ブランドの状況

商品戦略としましては、宅配寿司「銀のさら」では期間限定商品として、「大生エビ」、「生車エビ」を使用した商品を提供いたしました。5月のゴールデンウィーク、母の日、6月の父の日におきましては、「銀のさら」WEB会員に対して調査を実施し、その回答結果を元に人気の寿司ネタを集めた特別商品「感謝（かんしゃ）」（1～5人前）、「ありがとう」（1～5人前）を、販売いたしました。また、店舗で働く従業員1,064名が選んだおすすめネタ上位10品を盛り込んだ「お誕生日おめでとう」（1人前）を提供しております。公式サイト限定で販売するスペシャル商品「いま！これ！勝負ネタ」シリーズとしては、約2年の開発期間を経た「銀のさら」初の肉寿司「国産牛握り」を数量限定・期間限定で提供しております。

宅配寿司「銀のさら」、宅配御膳「釜寅」、宅配寿司「すし上等」におきましては、2025年4月より商品内容や、販売価格を大きく見直したメニュー改定を行いました。

販売戦略としましては、利用機会の創出と新規顧客の獲得を目的として、繁忙期であるゴールデンウィーク前

後にテレビCMを放映しております。また、自社電子ポイント「デリポイント」を活用することで、さらなる利用機会を創出するため、繁忙期や機会点において戦略的にポイントを発行しております。4月の公式WEBサイト・アプリ会員数が450万人を突破したことを記念した、4日間限定のデリポイントプレゼントキャンペーンや、各イベントごとにキャンペーンを実施するなど、顧客に向けた販売促進及び認知度向上のための施策を実施いたしました。また、宅配寿司「銀のさら」では、2025年3月に創業25周年を迎えたことを記念して、25個の企画で「笑顔」を届ける25周年プロジェクトを、2025年1月より開始しております。

既存顧客に向けては、顧客属性にあわせた計画的なDMの実施、メールマガジンの配信、LINE公式アカウントからの情報発信、公式アプリからのプッシュ通知等、CRM（※）の確立に向けた活動を行っております。また、電子決済サービスの導入を拡充するなど、顧客の利便性向上に努めております。

※Customer Relationship Managementの略。顧客接点での情報を統合管理し、顧客との長期的な関係性を構築、製品・サービスの継続的な利用を促すことで収益の拡大を図るマーケティング手法。

宅配寿司「銀のさら」においては、テイクアウト併設型店舗の出店を推進しております。従来のデリバリーでの注文に加え、テイクアウトでの需要に応えることで、利便性の向上と新たな顧客層の開拓を進めてまいります。

「専門店の美味しさをご自宅でも！」をコンセプトに、専門店のこだわりの味をお届けする宅配サービス「DEKIMATE」においては、牛タン、とんかつ、炭火焼肉、鰻等といった商品を提供し、検証を進めております。

「美味しい蕎麦をお手軽に」をコンセプトに、セルフサービス形式にて提供する蕎麦業態「最上（もがみ）製麺」においては、2025年5月に岐阜のご当地蕎麦「冷やしたぬき」を看板商品としたブランドへとリニューアルいたしました。

（2）当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

資産は、前連結会計年度末に比べて391百万円減少し、12,605百万円（前連結会計年度末残高12,996百万円）となりました。これは主として、現金及び預金が833百万円、売掛金が221百万円減少した一方で、投資有価証券が517百万円、原材料及び貯蔵品が149百万円増加したことによるものであります。

（負債）

負債は、前連結会計年度末に比べて394百万円減少し、4,572百万円（前連結会計年度末残高4,966百万円）となりました。これは主として、未払金が156百万円、長期借入金が145百万円、未払法人税等が115百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べて3百万円増加し、8,033百万円（前連結会計年度末残高8,030百万円）となりました。これは主として、その他有価証券評価差額金が129百万円増加、親会社株主に帰属する四半期純利益20百万円を計上した一方で、配当金146百万円の実施により減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、当第1四半期の業績は現時点で公表している連結業績予想を上回る進捗となっているものの、今後の事業環境の変動要因等を総合的に勘案し、2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月15日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,544,597	5,710,632
売掛金	1,135,806	914,037
商品	112,230	107,784
原材料及び貯蔵品	281,711	431,578
その他	642,590	643,630
貸倒引当金	△7,437	△7,770
流動資産合計	8,709,499	7,799,893
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	473,886	493,831
その他（純額）	189,752	184,696
有形固定資産合計	663,638	678,528
無形固定資産	304,446	287,891
投資その他の資産		
投資有価証券	2,497,131	3,014,563
繰延税金資産	131,087	132,078
差入保証金	663,677	662,066
その他	63,542	67,340
貸倒引当金	△36,118	△36,753
投資その他の資産合計	3,319,320	3,839,295
固定資産合計	4,287,406	4,805,715
資産合計	12,996,905	12,605,608
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,231,038	1,162,392
1年内返済予定の長期借入金	610,942	602,608
未払金	789,000	632,730
未払法人税等	172,338	56,910
契約負債	49,102	52,157
ポイント引当金	139,154	165,176
株主優待引当金	90,656	65,280
その他	258,362	297,710
流動負債合計	3,340,594	3,034,966
固定負債		
長期借入金	1,038,725	893,627
資産除去債務	178,047	177,344
繰延税金負債	57,175	116,718
その他	351,981	349,412
固定負債合計	1,625,928	1,537,102
負債合計	4,966,523	4,572,069
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,091,393	1,091,393
資本剰余金	995,013	995,013
利益剰余金	6,937,694	6,811,355
自己株式	△1,700,405	△1,700,405
株主資本合計	7,323,696	7,197,357
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	703,793	833,155
その他の包括利益累計額合計	703,793	833,155
非支配株主持分	2,891	3,026
純資産合計	8,030,381	8,033,539
負債純資産合計	12,996,905	12,605,608

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	5,185,219	5,225,041
売上原価	2,709,749	2,716,463
売上総利益	2,475,470	2,508,578
販売費及び一般管理費	2,566,087	2,457,906
営業利益又は営業損失(△)	△90,616	50,671
営業外収益		
受取利息	307	859
為替差益	1	-
固定資産売却益	21,802	14,545
業務受託料	1,418	1,418
投資事業組合運用益	-	4,696
投資有価証券売却益	-	716
その他	1,217	1,193
営業外収益合計	24,747	23,429
営業外費用		
支払利息	2,272	1,512
持分法による投資損失	-	150
固定資産除売却損	11,006	0
加盟店舗買取損	-	20,168
投資事業組合運用損	1,398	-
その他	3,162	277
営業外費用合計	17,839	22,109
経常利益又は経常損失(△)	△83,708	51,992
特別利益		
受取保険金	2,286	1,515
特別利益合計	2,286	1,515
特別損失		
リース解約損	3,768	2,623
特別損失合計	3,768	2,623
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△85,191	50,885
法人税等	32,881	30,557
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△118,072	20,328
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△118,070	20,330

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△118,072	20,328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	400,439	123,639
持分法適用会社に対する持分相当額	-	5,859
その他の包括利益合計	400,439	129,498
四半期包括利益	282,366	149,826
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	282,014	149,692
非支配株主に係る四半期包括利益	351	134

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、宅配事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	61,959千円	61,189千円